

# 会 議 録

全部記録 要点記録

<b>1 会議名</b>	姫路市総合計画策定審議会 第4分科会 第5回会議
<b>2 開催日時</b>	令和2年7月29日（水曜日） 14時00分～16時10分
<b>3 開催場所</b>	姫路市総合福祉会館5階 第1会議室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	姫路市総合計画策定審議会委員 第4分科会 委員 12人中 8人（2人欠席、2人代理） 姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 3人
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可（5人） 傍聴人（3人）
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	1. 開会 2. 審議 3. その他 4. 閉会
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

事務局	<p><b>1 開会 (14:00)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、大変お忙しい中、また足元の悪い中、13日に開催した第4回会議に引き続きご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいまから姫路市総合計画策定審議会第4分科会第5回会議を開催する。</li> <li>・分科会としての会議の開催は今回が最後になるので、これまでの審議を踏まえてそれぞれのお立場からご意見をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> <li>・欠席委員等確認</li> <li>・ここからの議事の進行については、会長をお願いします。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13日に引き続き、本日は第5回目の分科会の会議で、今日がこの分科会としては最後の会議になる。今日のテーマはあるが、それにかかわらず、これまでのことで何かご指摘等があれば、忌憚のない意見を全部出していただければと思う。</li> <li>・それでは、お手元の次第に基づき進行する。</li> </ul>
分科会会長	<p><b>2 報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第の2「報告」の「第4回会議における委員等意見への対応について」に入る。</li> <li>・「当日資料1 第4分科会第4回会議 意見一覧」、「当日資料2 「政策2 交流連携を支える交通環境の充実」修正案」、「当日資料3 「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」修正案」について、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[説明資料] 当日資料1 第4分科会第4回会議 意見一覧、当日資料2 「政策2 交流連携を支える交通環境の充実」修正案、当日資料3 「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」修正案を説明。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、ご説明いただいた当日資料1・2・3に関して、ご意見はあるか。特</li> </ul>

	<p>に「期待すること」を改めて「役割」という文言へ、より主体的にするという説明があった。それを含めてご意見があればいただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この「役割」との文言修正について、もともと意見が出た第1分科会はこれで良いと言っておられるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日に開催された第1分科会で、役割という言葉や、「します」という語尾にすることについてはご了解を頂いた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が作る計画の中で、市民にお願いするのではなく、市民がどう行動するかを市役所が縛るような「やります」という言い方を載せるのは違和感があると思った。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の総合計画は、姫路市まちづくりと自治の条例に基づき策定するものであり、この条例で行政、議会、住民の役割を整理している。</li> <li>・できるだけ押しつけにならないようにというご意見も頂戴しているので、その点を考慮していきたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「役割」という言葉は良いが、断定することは、法律家の観点からどうかと思う。「しましよう」は、あくまで努力目標であるが、「します」と断定してしまうと違和感がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の委員と同じように文末に違和感があるが、その中でも「努めます」という表現がある。「ます」と言い切ったとしても、「努力します」「努めます」とすると受け入れやすい感じがする。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「期待すること」と言うと上から目線になるため、「役割」という言葉は良いと思う。だが、それが断定できるかは別問題であると思うので、柔軟性がある表現のほうが良いと思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が「何々します」というと、行政が地元に来てするのかという解釈に</li> </ul>

	<p>もとれる。そうではなく地元のみんなに何かしてほしい時は、「します」と言い切ると、できなかったときに言い訳をしないといけないので、「したいと思います」にする。できないときに、なぜできなかったのと責められないようにしないといけないと思う。</p>
<p>参与</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば政策2の「安全で快適に移動できる交通網が、市民や来訪者の往来や経済活動を支えている」で、市民の役割として、「日常の移動手段として積極的に公共交通や自転車を利用します」と書くと、自動車を使うことが安全で快適に移動できる交通網に対してふさわしくないと捉えることができるので、ここの「目指す姿」と「役割」が本当に確実に一致しているのかをもう少し精査していかないと、これでいくと、自動車を使って安全運転することも否定されているように捉えられてしまうことがあるのではないかと思います。「役割」にするのであれば、整合性については見直していただくほうがいいのではないかと。</li> </ul>
<p>分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこは事務局のほうで精査していただいて、「何々します」の前に少し柔軟になるような言葉を入れてほしい。内容によっては断定していいものもあると思うが、参与のご指摘のようなところもあるので、精査してすみ分けをしていただければと思う。</li> </ul>
<p>分科会副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策2の市民の役割で「道路の陥没や損傷などを見つけたら、速やかに道路管理者に情報提供しましょう」とある。市民がするけれども、実際それを個人的にするのか、地域の自治会長たちに頼んでするのか、一般の方が見て理解できるか。例えば、この横に連絡は何々課と書かないとどこに電話すればいいのか悩む。言いたいけれども伝えられないようなことが起こる。またこう書くのであれば、すぐ次の日に見に来てくれるのかという話になるが、それは順番があるのでたぶん無理だと思う。行政が見つけられないので市民が情報提供するということだと思う。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちろんパトロールで調査をしているが、すべて調査できるわけではないので、市民の役割として書かせていただいている。</li> </ul>

分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の家の近くにもぼこぼこした道路があるが、結局パトロールは本線しか通らない。</li> <li>・地域コミュニティの中の自治会長がいるから、そういう箇所をまとめて市役所の窓口にかけていただくのか、一般市民が直接役所に連絡するのかわをはっきりさせたほうがいいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かを介する場合もあるかと思うが、地域の役割でなく、見つけた方がということイメージして市民の役割としている。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、道であれば道路管理者の電話番号か何かを冊子の後ろに、相談窓口はここであるというのは冊子の中に明記するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこまでは考えていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、言われたことは、例えば私が自治会長をしていて、自分が住む地域で陥没しているのを見つけた人が、自治会長に言わずに、直接、市に言い、市が勝手に直しに来たということになれば、自治会長は何も知らない形になる。そこを問題視しておられる。</li> <li>・一般市民がいちいち言っていたら、受けるほうも困る。やはり自治会長を通して連絡を受けるという考え方にならないと、知らなければいけない立場の人が知らないうちに動いていることになる。それでは、みんなの動向がまとまらなくなるということを言われていると思う。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長に様々なことを手伝ってもらうために、分かりやすく自治会長に連絡してくださいとか、そういう方法があるというのを示したほうがよい。これは最終的に市民に見てもらふ冊子で、パブリックコメントもするので、その辺を分かりやすく願います。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の指摘は大事な点だと思うので、その辺も精査をして表現を検討していただければと思う。</li> </ul>

分科会会長	<p><b>3. 審議</b></p> <p>・次に「防災・安全安心分野 分野目標（案）・政策（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[説明資料] 資料1 防災・安全安心分野 分野目標（案）・政策（案）</p>
分科会会長	<p>・ありがとうございます。資料を3点ほど説明いただいた。今日のメインの防災・安全安心分野についての審議になる。前回同様、資料1の総論的なことは後で確認させていただくことにして、まず各論、資料1-1の政策1「災害等に強いまちづくりの推進」から議論していきたいと思う。政策1についてご意見ををお願いします。</p>
委員	<p>・右側の方向性イで、参考資料を丁寧に書いていただいてありがたい。普段から、ありとあらゆる手段を使って正確な情報を多く入手して生き延びてほしいと、放送で話しているが、情報の受け取り方を皆さんが知らない。ラジオの聞き方、周波数の合わせ方も知らない方がおられる。インターネットに関しても姫路市は情報をたくさん発信しているのに、受け取ることができない方も多いので、整備とともに受け取り方の教育にも取り組んでいただきたいと思います。</p>
委員	<p>・方向性ウに「雨水ポンプ場や雨水幹線を順次整備する」と書いてあるが、整備箇所をどのように決定していくのか市民は知ることができるのか。</p>
事務局	<p>・雨水幹線については、すでに整備を進めているものはホームページ等で公表している。また現在、5年確率から10年確率への雨水計画の見直しを行っており、今年9月頃に見直しが終わる予定である。来年度、雨水管理総合計画を策定して、その中で優先順位をつけ、公表しようと考えている。</p>
委員	<p>・それはきちんと公表していただけるのか。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公表の方法はまだ決まっていないが、公表する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防の立場から申し上げると、市川、揖保川、夢前川で、おのおの消防団の管轄も違う。「やります」という言葉だけであれば、優先順位が一般市民に見えない。だから、冊子を市民が見たとき、これだけ悪いのになぜ直してくれないのか、早く直すと書いてあるではないかという苦情が絶対出てくると思う。</li> <li>・例えば、私は市川を管轄しているが、市川より揖保川のほうが先に直るのかと市川の立場の者は思うし、揖保川の管轄者からすれば、市川のほうが早いのかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何らかのルールを持ってというようなことを加えたほうがいいのかとか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が見たとき、いつ直るのか、早く直ったらいいのに5年、10年経ち、その間に災害が起きたらどうするのかというように捉えられると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水対策自体は、市として当然進めていかないとはいけませんが、総合計画の基本構想は大きな方向性を示すものであり、書き方はこれぐらいになるのかと思う。優先順位については、個別計画などの中で決めて整備していくことになる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような言葉を括弧書きでも、順次計画はしているとか何か入れておかないと、書いているけれども少しも直らないというように見える。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域全体で一斉に取りかかることもできないので、そこは早い遅いがどうしても出てくる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達は事情が分かっているため仕方ないと理解できるが、もう少し分かるような形の方が良いと思う。順次と書いているが、工事の内容などを柔らかい分かりやすい言葉で、不備なところを直していく予定であるといっ</li> </ul>

分科会副会長	<p>たように、市民が見たときにぱっと分かるようにしてもらほうがよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水対策の詳細や進捗状況については、何々課のホームページをご覧くださいと書くだけでも良い。浸水対策については特に市民の方は関心があるから、「予算がつくところから順次行っている。詳しいことはホームページをご覧ください」みたいなことを書けば、それで済む。これだけのページの中で、「土台」のところに1行書くだけで済む。それで10年間いくのだから、いいではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順次整備という表現については検討させていただくが、優先順位などの確認方法としては、今の総合計画もそうだが、巻末に個別計画名を掲載し、詳細は、記載された個別計画を見ていただくことで対応していきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それが載っていたら、説明できるし、市民も今やっていることがわかるので、個別計画を掲載することは必要ではないかと思う。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現状と課題」の3点目に土砂災害の警戒区域でイエローゾーンとか、あるいは特別警戒区域（レッドゾーン）の指定が兵庫県によって進められていると書かれている。これは総合計画ということで10年先を目指すときに、いつ兵庫県の指定が決められ、そしてまたそのことをその地域でどういう形で補完されるのか教えてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、レッドゾーンについては、市内で平成31年3月29日の時点で443か所指定されている。県で順次、危険なところを調査した上で認定している状況である。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは随時追加されていくと思うが、それは公表されているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公表されている。</li> </ul>

代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう形で公表しているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県CGハザードマップで確認できる。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かった。ただ、随時追加されることからすると、表現的には「進められています」という形しかやむを得ないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。まだ市内全域の調査が済んでないと聞いている。</li> <li>・ハザードマップで、お住まいの地域の危険箇所とか避難箇所とか、どの程度浸水するかというのが見られる。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッドでも443か所あるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッドは443か所ある。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか大変だ。分かった。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目指す姿」に感染症の拡大が新たに付け加えられたことと併せて、「テロといった重大な危機」と、テロの話が出てきている。「現状と課題」のところではテロに関連する記述がない。「目指す姿」のところだけにテロということが出てきているのは、どう受け止めたらいいか。テロ対策は重要と思うが、どういうことを想定されて「目指す姿」の中にこの文言が入ってきたのか、教えてほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テロ自体の具体的な対策となると、国レベルのことになるので、方向性の中では具体的なことを書き込めない。方向性では、アの「自助」、「共助」、「公助」の相互連携による危機管理対応力の向上」という中で、テロに関しても緊急事態という捉え方で、そのような情報を市民自らが正しく得て、責任ある行動がとれるように意識を高めるとか、あるいは地域の防災力を高めることについては、テロのときも同じような対応になると整理している。</li> </ul>

代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか難しい。テロに対する意識を高めるというのはどういうことなのか。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに唐突に出てきている。テロは基本的に犯罪なので、むしろこちらよりも政策2の安全安心かなという気がしないでもない。テロは基本的に刑法犯の一番重いものなので、刑法にも政治犯のところで規定がある。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここは唐突な感じがする。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに言われるとおりでである。災害とも違うし。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民保護の所管が危機管理室ということで、一般の危機管理と併せて国民保護の関係でこちらに載せている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどあったとおり、テロに関する現状が全く書かれていないので、少し唐突感はあると思う。現状のところそういう文言が一つでも入れば、方向性のほうに反映されるのかなと思う。</li> <li>・国民保護もあるので、例えば計画を進めていくとか、訓練をやっていくというのがあれば、テロ対策にも反映されていくのかと思う。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練といっても、自衛隊の皆さんがそういう訓練をされるのと違って、市民がどんな訓練をするかという観点になっていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民保護訓練は、防災訓練も同じだが、基本的には自治体の方が主体となって、それに対して我々が協力させていただくことになる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の中でテロ対策として、神姫バスを貸してもらい、その中でガスがまかれたという想定で毎年訓練をしている。自衛隊の方も警察の方もみんな来て、防護服を全部かけて、医者への対応までやっているのだから、市としてはそのような訓練をやっているという意味合いから「テロ」という言葉</li> </ul>

代理	<p>を書かれたのだと思う。コロナ禍で今年は恐らくないだろうと思うが、広畑や姫路駅北の芝生広場でも訓練を行っている。</p> <p>・今、委員からお話があったように、「目指す姿」の中にだけ文言が出てくるのは唐突感があるので、「現状と課題」の中でも訓練という言葉があれば良いと思うのでご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>・「現状と課題」のところで、国民保護の訓練をやっているという状況を整理したいと思う。</p>
参与	<p>・先ほどのテロの件は、方向性アの1つ目「自然災害や感染症拡大等の緊急事態発生時」に「テロ」と書いたらどうかと思う。</p>
事務局	<p>・今は「等」に含めているが、それを出して「テロ」という言葉を入れる。</p>
参与	<p>・災害などが起こったときに、避難所の充実がやはり必要だと思う。例えば「土台」の部分に「浸水対策の推進」とか「減災対策の推進」とある。これらは防災という政策では必要であるが、万が一災害が起こったとき人がどのように安心して乗り切れるかという内容をどこかに書いておいたほうが良いと思う。特に市民から「逃げる場所はどこなのだ」と言われる。</p>
分科会会長	<p>・民間でもかなりの数が避難所として指定されており、うちの大学も避難所に指定されているが、体育館は老朽化していて、果たして避難所として使っていただけるのかという問題もある。特に今回のコロナの関係で、いわゆる密になるとか全国的に問題になっている。それも含めてたくさんの避難所を市としては公的なもの、民間のものを指定されていると思うが、その現状を把握し、それをもう一度検証というか、こういう計画を立てるときに見直しをして、不十分なところは改善をしていくという手立てを取っていただくためにも、その前提になるような避難所のことを書いていただけたらありがたい。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それはありがたい。避難所の話では、市川が2011年に氾濫しそうになったとき、7,000軒ぐらいに避難勧告、避難指示が出たが、避難してくれた人は本当にわずかだった。</li> <li>・避難する、避難しない、垂直避難するという部分の良し悪しは、夜中であるとか高齢であるとかによって、避難しないほうが安全な場合もある。例えば、砥堀小学校が市の避難所に指定されている。ところが、市川が決壊したら砥堀小学校は浸かる。なので、そのときには学校の先生の指示を待たずに2階、3階にすぐに上がるような動きができるように考えておかなければいけない。</li> <li>・運動場を開放して、お年寄りが車で来たとき、車をとめるところがないので歩いて逃げなければならない。歩いて逃げているら川にはまって流れてしまうことも考えられる。大きな川だけでなく小さな水路に足を取られるだけでも流される。そのようなところも考慮して避難所のことをきちんと書いておいたほうが良いと思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所に関して、どこかに入れていただいたらありがたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は、方向性イの1点目「事前の避難対策や備蓄のほか、防災拠点の強化」に避難所の事も包含しているが、もう少し分かりやすく直したい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お願いします。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は安全・安心分野ということもあり、方向性は、人、地域に関わる場所が多いが、例えば感染症拡大について、「市民自らが正しい情報に基づき適切な行動がとれるよう」ということは、今回の新型コロナについて皆さんに情報があつたかという、基本的になかった中で今の状況になっている。そういう正しい情報を発信していくのが「土台」になければいけないと思う。</li> <li>・例えば災害でもそうだが、地震や水害というこれまで姫路市が経験してきたことに対しての知識は計画に織り込むことができる。一方、新たなことについては何も織り込むことができないが、計画の中で、例えば先ほど</li> </ul>

	<p>出た避難訓練や対策をしながら、市民の皆さんに周知していくことで、市民が正しい情報を入手することができると思う。この「土台」が浸水対策、減災対策という幅の狭いことしか書いてなくて、これだけの「土台」の上に、人と地域にすごくのしかかる状況になっている。</p> <p>・例えば、この「土台」の中に感染対策をどう対処していくかという内容がないのに、感染対策に対して正しい情報をどのように周知して、知って行動をとるようになるのかということが、この流れでいくと、「土台」がないのに人に対するお願い事がすごい負荷が高くなっている気がする。多分もっとこの「土台」というところについて、課題を踏まえて、先ほどの避難所もそうだが、それを計画的に強化していくのも土台づくりになると思うし、避難訓練も土台づくりになると思うので、そういったところが全部「土台」になってきて初めて自助、共助というところにつながっていくはずだが、そういったことがない中で人に対する要望が大きくなっている計画に見える。</p>
分科会会長	<p>・ありがとうございます。難しい話であるが、土台部分がこれだけではいけないのではないかというご指摘だと思う。</p>
参与	<p>・総合計画という大きな計画なので、土台をしっかりさせておくことが大切である。</p>
分科会会長	<p>・土台をしっかり立てておかないと、その上には乗っからないよという指摘。事務局、ご検討いただければと思う。</p>
事務局	<p>・情報の発信や情報の共有、情報伝達は、「活力」のイの1点目に書いているが、それを含めて、情報発信だけではなく、どう対応していくかといった辺りをきちんと定めるものが「土台」に必要だというご意見と思うので、少し検討させていただきたいと思う。</p>
分科会会長	<p>・政策2、資料1-2に移る。こちらは「目指す姿」が2つある。まず「目指す姿1」の「火災や事故など日常に潜む災害による被害が軽減している」</p>

代理	<p>についてご意見を頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土台」のエに「消防救急救助活動体制の充実」とある。かつて懇談会の場で市長から、これからはドクターカーの取組、導入が大事な時代に来ているという話を聞いた。徳島県の日赤では年間800件ほどドクターカーが出勤している。ドクターカーの位置付けについては触れられていないように思うがどのようにお考えか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターカーやドクターヘリについて書いたら良いと思う。先日、火災があったときに救急隊だけでは対処ができず、すぐにドクターヘリがきた。救急隊、消防隊が現場に行くが、対応できない場合は、すぐに無線で救急隊自身がドクターヘリ、ドクターカーを呼んでくれと指示をしている。よって、今の言葉の中に付随するのであれば、ドクターカー、ドクターヘリの始動もうまくいっているという言葉を入れればよい。本当に私は目の前でドクターカーやドクターヘリが来て対応してくれているのを見ている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターカーは医療機関の所有であり、市でどうこうできるものではなく、行政と医療機関との連携が重要である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性ウの「医療機関との連携」があてはまる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性イに「消防団員の確保を促進するとともに、団員が活動しやすい環境を整備することで、火災や水水害など様々な災害に対する地域の防災体制の強化を図ります」と書いているが、「消防団員の確保」というのは市が何かしていただけるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「確保を促進する」ということで、市が確保するという意味ではない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「促進」という部分で具体的に何かしてくれているか。実際、消防団員を入れる場合、分団長や班長が家に行って、消防団員への入団をお願いしても、親が断る時代である。市がこう書くと、何かしてくれるのかという理解</li> </ul>

事務局	<p>になる。本当に班長や分団長が苦勞して消防団員を確保している。このように書いていたら市が何かしてくれるのかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市としては、消防団員の確保が必要だということは分かっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターの掲示をすとか、「市として消防団員がこれだけ頑張っている」というような綺麗ごとを書いているだけではないかと思う。苦勞して「消防団に入って下さい」と頼みに行っている者からすると、市は何もしてくれないと思わないか。だから、消防団員の活動に対しては市として敬意を示しているという形でよい。「確保」と書くと、市が協力して確保してくれるのか、危機管理室の人が一緒に行ってくれるのかと思う。今入ってくれている消防団員は市にとって非常にプラスになっているので、もう少し書き方を考えてほしい。</li> <li>・市民の安全・安心を一番に考える中で、「こんなことを書いているではないか」と言う団員も絶対出てくる。市としてもう少し心遣いがあるといいのではないかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現状と課題」の3点目に、消防団が重要な役割、地域の要になっていることは書かせてもらった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の仕方だと思う。「確保を促進するとともに」と書くから、市のほうで確保してくれるのかという話になるので、「確保するために環境整備をする」とつなげて、市としては確保しやすい環境を整備して、その確保は消防団でお願いするという書きぶりにすれば良いと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連データの「消防団の現状」を見ると、平成30年、31年とあまり状況が変わっていない。最近は高齢者が増えているが、元気な高齢者に入団してもらおうようなことはしないのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員は、団員は65歳、分団長は70歳での退団が規定で決まっている。姫路市は平均年齢が高い。田舎でずっと入っている人もいるし、中播磨な</li> </ul>

委員	<p>ら福崎、神崎、市川などは年齢が若い。姫路市全体で3,200人の団員がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身も消防団に入っていたが、最近の消防団は会社勤めより自営の方に来てもらっているのが現状と思う。姫路市には女性の団員はおられるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15名ほどいる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たつの市は他都市と比べ消防団員に女性が多い。姫路市も自営の女性の方に参加してもらえば良いのではないかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性もだんだんと活動を増やしているし、女性にしかできない活動もある。防災で倒れている女性に、女性が行って体を触ることは可能だが、男性が女性の体を触るとなれば、変に思われたり、処置をするのでも気を遣う。そのようなときには女性に行っていただくことになるので、女性の力は必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しかし姫路市は全体的に女性団員の数が少ない。だから姫路市か消防団が女性の方を募集するようにしてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは既に進めている。田舎に行けば、婦人会を中心にして自主防災組織で頑張るといふ話であれば、無理やり消防団に入れたりほしくない。今のところ女性消防団員も、東消防署、飾磨消防署、西消防署に5名ずついるので、増やすことができれば増やすし、増やすことができなければ、今いる15名をもっと強化して頑張っていく。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に「目指す姿2」に行く。特に方向性でご意見をお願いしたい。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費トラブルの管轄は、危機管理か、市民局か、それとも警察か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の所管としては市民局の市民総合相談室であり、消費の関係はこの政策2「安全安心な暮らしの確保」に入る。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性カの防犯や交通安全について、警察や防犯協会等と一緒に進めていただくのは非常に良いことだと思う。今は自転車であっても罰金がかかってくる。2回目以降捕まったら講習を受けなければいけないというパンフレットを作って、市民に配布することを書き加えたらどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報啓発については、カの2行目、「子どもから高齢者まで、それぞれにあった教育と広報啓発に取り組む」と書いているので、毎年の事業の中に現れていると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の中でそういうことを書かなくても、危機管理のほうから市に要望するなり防犯協会に要望するなりして進めていただいたほうがいい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここの枠組みだけ「活力」の方向性が出てこないが、記載することがなかったのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりである。ここは防犯協会、交通安全協会との協力というところが多く「活力」がなかった。実はこの「人、地域、活力、土台」は、来年度から実施計画を作っていく中で、我々が予算措置をして実施していく事業を想定しながらラベリングをさせていただいている。その中でどうしても「活力」に当てはまるものがなかった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの分野でもないところがあるのなら良いが、ここだけないとなったら見栄えがあまりよくないと思った。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭に消費生活の所管を聞いたのは、そもそも「土台」となっている啓発活動を私たちはさせていただいている。地元で何か催しがあると、消費生活センターや中播磨県民センターとともに、消費者ホットラインの188に電話をかけましょうと一生懸命啓発しているが、それは関係ないのか。</li> <li>・毎年行っている5月の消費キャンペーンを今回、コロナの関係で実施しなかったら、逆に「次にいつ実施されますか」との問い合わせが警察や中播</li> </ul>

	<p>磨県民センター、弁護士協会からくる。実際に動いている立場として、それは活力にはならないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青パトのところから特殊詐欺の啓発のはがきが来ていたが、それが危機管理室なのか市民局なのかと私が問わなければいけないのは、いろいろなところで同じようなことをしているからである。でも、実際に関わっていなかったら私が言うまで分からない。だから、地域みんなにしてもらっているということをもう少し考えて、地域がするのが当たり前ではなくて、地域の人たちとともにしているのだということ踏まえながら文書を作ってもらったほうが良いと思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のお話はまさに「活力」だと思って聞いていたが、地域の方が実際にちゃんとやっているという、それが次につながるという意味で、まさに「活力」だと思った。「活力」がここだけないというのは事務局も、少し考えていただければと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・了解した。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民局の管轄だったら、自治会は、消費生活センターで作った消費者ホットラインの番号が載ったうちわを、夏祭り等で配らせていただいているので、実際は既にされている。すでに啓発しているが、だまされる方がたくさんいると新聞に載っているので、FM GENKIでも消費の放送もしてくださっている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、言われたことは、方向性クの1点目、「消費者トラブルによる被害を未然に防止するため、教育機関や警察等と連携して」、あるいは2点目の「市民が安心して相談できるよう、消費生活センターや市民相談センターなどの相談機能を充実」に書いている内容にあてはまるが「土台」か「活力」かは考えさせていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「土台」は基盤整備のようなことなので、「消費者教育」や「広報啓発」は「土台」かもしれないが、「活力」を作るとしたら、連携するというところ</li> </ul>

	<p>る、消費者団体や婦人会、県、警察との連携づくりをサポートするといったことを「活力」として記載できないか。ほかの政策を見ても、計画を作るとか相互協定を締結するとか、お互いに何かを作っていこうということが「活力」に書かれているので、連携してそういう仕組みを作るということを「活力」にすれば、「土台」で教育啓発するということにつながるの、そこを取り出したら1行、2行でも書けそうな気がする。</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「活力」というのを抽出して別立てでということで、今のご意見を参考にして、検討をお願いします。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の分野目標に戻る。ご意見をお願いしたい。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の説明文の1つ目が感染症の問題が入ったから分かりにくくなったように感じる。長文なので文章を短くしたら分かりやすくなるのではないか。2行目の「るとともに」を取り「強化され」にすると文章的にまずいか。そのほうが読んでも理解ができると思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指すものだから「強化され」で分けるのも難しい。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強化され」で切り、2文にわけるとおかしいか。長文で息をつくところがないので読みにくい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政がすることと、啓発等で結果として市民の方々におねがいすることを並列させていただいているので、「ともに」があったほうが読みやすいかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深刻な被害をもたらす自然災害や感染症などに対する備えとして」というのを全部カットし、防災・減災、感染防止からはじめるのはどうか。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「備えとして」までは修飾語なので取ってもよいのではないか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深刻な被害をもたらす」というところは取っても文章としては影響が少ないかと思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災」以下のところは切れないと思うのでこのままでいく。また2つに文章を分けると意味が弱くなったりする。1文で「目指します」という強いメッセージが大切であると思う。「備えとして」までの、この冒頭部分があることによって長く感じるので修飾語が取れるかどうかの検討をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば簡潔なほうがよいと思うので、削れないか検討する。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに意見はないか。新型コロナウイルス感染症は、この会議が立ち上がったときにはまだ発生しておらず、この半年で大きな変化が出てきた。これもいつ終息するか分からない。また今後どうなるか、新しい感染症が出るかもしれないので、当然これは入れておく必要がある。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1に「南海トラフ地震の被害想定」とある。姫路といえ、南海トラフもそうだが、山崎断層である。数的に南海トラフと山崎断層を並べればどうかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1-1の「現状と課題」1点目を見ていただくと、南海トラフの発生確率は、今後30年以内に70%~80%と非常に高く、山崎断層は1%以内という予想である。そういう意味で、事務局としては南海トラフのほうを重視して資料1で挙げている。山崎断層のほうはデータを確認したい。</li> </ul>
参与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフは市内の南で、やはり山崎断層は北のほうの影響が大きいと思うので、ここに加えてもらえればと思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし分かるデータがあれば、並べていただいたら分かりやすいかと思う。</li> <li>・何かほかにあるか。目標の説明文は、最初の修飾語をご検討いただき、基本的にはこれで固めたいと思う。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参与ご指摘のように、南海トラフに対して山崎断層、もし客観的なデータがあれば付け加えていただけたらと思う。</li> <li>・表のほうには載せられると思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災・安全安心分野」をご審議していただいた。最初に申し上げたようにこの分科会は今日が最後である。これまで議論してきた全体を通して、何か一言あれば言っていただけたらと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日資料3の「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」の修正案について、「都市基盤」の政策2「交流連携を支える交通環境の充実」の地域コミュニティの役割として、「植樹帯など道路をきれいに保つため、ひめじ街路樹アダプト制度に参加し、道路の清掃活動を行います」とあるが、環境分野のほうがこの文言がなじむのであれば、そちらに記載されたほうがいいのではないかと感じた。</li> <li>・例えば、我々交通事業者が地域コミュニティに望むこととしては、公共交通が置かれている課題意識の共有を図っていただけるように、具体的に言うと、乗って支えることの大切さを自治会で共有していただくことが重要かと思うので、例えば「地域コミュニティが主体的に取り組むことができる活動に取り組むよう努める」とかを追記してほしい。街路をきれいにすることも非常にありがたいが、乗って残さないと存続が厳しいというところを住民の方に知っていただくために、自治会長から直接地域の住民の方に言っていただいたことがすごく効果があったと経験したので、「役割」として入れていただけたらありがたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・安全安心分野の政策1の方向性ウ「浸水対策の推進」について、特に今年度、この間にはこの場所を特に整備するというのを少し書いていただけたら、市民が関心を持つのではないか。</li> <li>・西、東、中地区、この辺で一番浸水するようなところを、具体的に来年、再来年ぐらいにはこんなことをすると地域の人に分かっていただけるようなことを書いていただけたら大変うれしい。</li> </ul>

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝原小学校も、最近はないが、大津茂川が氾濫して、大人の膝ぐらいまで水が出たが、そこが避難場所となっている。橋を造り直すと言われたが、いつ新しくなるということをしっかり住民に知らしてほしい。</li> <li>・それから、逃げる場所を示してほしい。ほかのところはどうか知らないが、勝原の場合、消防の出張所のところで2名亡くなっておられる。その辺も含めてやはり水がよく浸かるところは、具体的にこういうことをするか、こういうところに逃げてほしいということを住民に知らせてもらいたい。それで、書けるようなら西、東、中で、具体的にこういうところを工事すると書いていただいたら、住民は関心を持っているので、喜ぶと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画の柱の部分なので具体的な事を書くのはそぐわない。それはホームページを見てくださいと啓発していくことだと思う。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の言われることであれば、先日本配りした主要事業の概要で毎年の取組を示していくので、そちらを見ていただいたほうがよい。</li> <li>・危険箇所の周知の仕方は、危機管理室の所管になるが、地元の方と意見交換しながら行っていきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の九州の大豪雨で、球磨川で落橋したという報道があった。前回私も都市基盤の交通のところで橋梁の老朽化の件を質問したが、橋梁は50年以上が8%残っているとのことだった。今後、予算面もさることながら、土木の専門職など、専門職員も増やさないと、なかなか解消が進まないと思う。一挙に職員を増やすことは難しいと思うが、都市基盤を構築していく観点からも専門職員の増加が重要だと思う。</li> </ul>
代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員については、職員定員適正化計画の中で年次計画があり、令和2年から令和6年までの計画を策定している。その中で行政職の人数は増やす計画となっている。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域行政については、行財政運営分野の第1分科会で審議している。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨のときに窓を閉めた状態で緊急の防災行政無線が聞こえるだろうかという話が出ている。FM GENKIやJアラートもあるが、私の家の中ではFM GENKIの周波数は入らない。車の中や窓の外にラジオを出して初めて聞こえる状態で、Jアラートも拾えない。</li> <li>・他都市には災害の放送が始まると自動でスイッチが入って災害情報が流れるラジオがある。お年寄りなどからすると、防災無線はすぐそばにスピーカーがあっても雨の中で窓を開けないと聞こえない。本当に分かってほしい情報を市民に伝えるにはそういうラジオが役に立つ。</li> <li>・そういう放送ができれば、例えばコロナのことで、今姫路市で急激にこれだけの感染者が出ているので、今までどおり手洗いや外出を控えてくださいと、テレビでなく、ラジオから情報を得るような形にできたら、安心して住める姫路市になると思う。10年という長い計画なので、それも考えていただけたらと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理室からは、全市に防災行政無線を整備しているが、窓を閉め切っているのは聞こえないので、FM GENKIや携帯のエリアメールなど、あらゆる情報と連携させる、また聴き直しテレフォンサービスなども活用する、と聞いている。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホを見ることができない高齢の方がたくさんおられるので、その方々に分かりやすい情報を提供する意味で、次の段階でそういうラジオもあると頭に置いておいて、10年のうちのどこかに入れられるようなら願います。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これで審議を終了したい。大体ご意見を頂けたのではないかと思います。</li> <li>・次に次第の4「その他」について事務局から連絡をお願いします。</li> </ul> <p><b>4. その他</b></p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は長時間にわたり、分野目標から方向性、市民等の役割についていろいろご意見を頂き、ありがとうございました。</li> <li>・序論部分も含めて、この分科会で所掌している都市基盤分野と防災・安全安心分野について、追加でのご意見等があれば頂きたいが、まとめる関係で、週明けの8月3日(月)までに私どもにファクス、メール等で頂ければ対応できるかと思う。</li> <li>・今回ご審議いただいた防災・安全安心分野に関する意見、それから追加で頂いた意見については、もう一堂に会していただく機会がないので、書面等で確認させていただくことになる。</li> <li>・頂いた意見をまとめていき、8月21日に会長、副会長にも出ていただく正副会長会議で、それぞれの分科会の案を持ち寄って1つの市としての基本構想案にまとめ上げたいと考えている。</li> <li>・皆様には8月31日(月曜日)14時から、ホテル日航姫路光琳の間で開催する第3回全体会議にお集まりいただき、皆様の審議の成果をご覧いただき、それでよいとご確認いただければ、最後に審議会会長から市長に答申を頂こうと考えている。よろしく願います。</li> </ul> <p><b>5 閉会 (16:10)</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、以上をもって第4分科会第5回会議を閉会させていただく。会長初め委員の皆様には昨年来、長期間にわたって熱心にご審議いただき、誠にありがとうございました。</li> <li>・これからも姫路市政への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げるとともに、これまでのご協力にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。</li> </ul>